

# 2023

2022.4.1 ~ 2023.3.31

2023年3月期 決算のご報告



東証プライム

証券コード: 3837

デジタル社会の“あした”をリードする  
イノベーションカンパニー



社会インフラから、最先端のものづくりまで。  
アドソル日進はデジタル社会の“あした”をリードします。

エネルギー(電力・ガス)、自動車・道路・鉄道、航空・宇宙、  
公共・防災、情報通信、工場、医療等の幅広い領域で、  
「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードに  
先進的なICTソリューションを提供。  
豊かな社会の発展に貢献しています。





代表取締役社長 兼 COO

代表取締役会長 兼 CEO

篠崎 俊明 上田 晋三

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
2023年3月期における業績及び取り組みにつきましてご報告申し上げます。  
業績面では、「DX・デジタル化」などのICT投資需要をとらえ、売上高は128.4億円となりました。

一方、中長期的な成長に向け、DX人材育成等の各種投資を推進した結果、営業利益は12.1億円となりました。

取り組み面では、フランスを拠点に事業展開するグローバル企業「シュナイダーエレクトリック社」をはじめとしたDXアライアンスの強化に加え、新たな価値の創出(東京大学大学院工学系研究科との宇宙・衛星データ利活用に関する共同研究)や、人材育成、エリア戦略(名古屋オフィス新設)等に積極的に取り組みました。

今後とも持続的成長と、一層の企業価値向上を図ってまいります所存です。

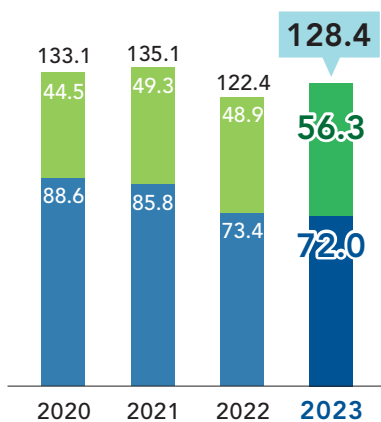
引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

売上高 (単位:億円)

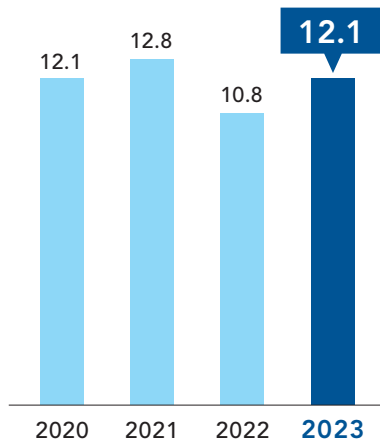
■ 社会インフラ事業  
■ 先進インダストリー事業

128.4 億円



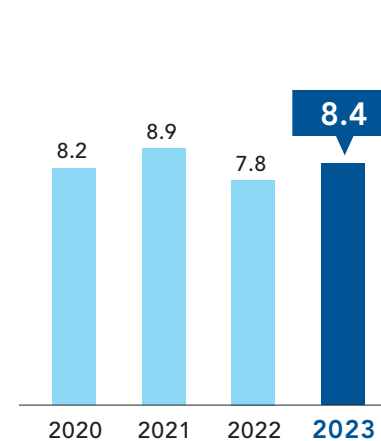
営業利益 (単位:億円)

12.1 億円



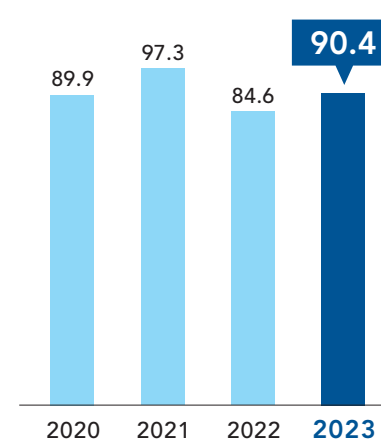
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:億円)

8.4 億円



1株当たり当期純利益 (単位:円)

90.4 円

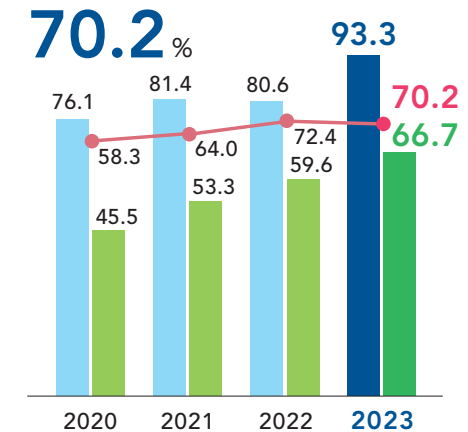


総資産/純資産/自己資本比率

■ 総資産 (単位:億円) ■ 純資産 (単位:億円)

93.3 億円 66.7 億円

● 自己資本比率 (単位:%)



※2021年3月期より連結財務諸表を作成しています。2020年3月期以前の値は単体財務諸表の値を参考として記載しております。

# ビジネス領域の進化・拡大、DXソリューションの拡充・強化

1976年の創業以来培ってきた豊富な実績や、技術力をベースに、「次世代エネルギー」と「スマートインフラ／ライフ」で事業成長をけん引し、「エンタープライズDX／モダナイゼーション」でベースロードビジネスの拡充と強化に取り組みます。2030年以降の持続的成長と、SDGs・サステナブルな社会、カーボンニュートラルやスマートシティの実現に貢献してまいります。

## 新・中期経営計画 注力ポイント

### 成長事業 1

#### 次世代エネルギー

次世代デジタルエネルギーシステムを通じた新・バリューチェーン、安定供給、レジリエンス

関連システム  
サービス

- 次世代スマートメーター
- 再生可能エネルギー、VPP
- 需給調整、デマンドレスポンス

### 成長事業 2

#### スマートインフラ／ライフ

まちのデジタル化(都市OS)、デジタルデータでつながりひろがる暮らし、コミュニケーション

関連システム  
サービス

- セーフティタウン
- スマート交通
- レジリエンス
- 生活インフラ

### ベースロード

#### エンタープライズ DX／モダナイゼーション

企業の業務効率化、ビジネス変革

関連システム  
サービス

- 基幹システム刷新
- デジタルデータ利活用

グリーン成長戦略

カーボンニュートラル



スマートシティ

デジタル成長戦略

2026年3月期 業績目標

毎期連続最高更新\*

売上高

150 億円

営業利益

15 億円以上

営業利益率

10 %以上

※2024年3月期、2025年3月期、2026年3月期

これから活用が進む情報

宇宙・衛星データ

気象情報

交通・人流データ

機器稼働データ  
(IoTデータ)

従来の情報

財務データ

株式データ

統計データ  
(国・自治体)

報道・企業開示

詳細はこちらをご覧ください ▶▶▶▶

<https://www.adniss.jp/ir/library/mid-term-plan.html>



## NEWS

### 名古屋オフィス グランドオープン

中部地区での事業拡大とお客さまリレーション強化を目的として、名古屋市に新オフィスを開設しました。名古屋オフィスでは、当社の主力領域である「エネルギー（電力・ガス）」や、世界をリードする「製造業」のお客さま向けにICTシステムやDXソリューションを提供します。中部地区に根付いたエリア戦略を推進することで、中期的には事業の柱となる拠点へと拡大・深化を図ってまいります。



### SaaS型クラウドサービス「COCOYA」リリース

当社初となるSaaS型サブスクリプションサービスとして店舗情報マッピングサービス「COCOYA（ココヤ）」の提供を開始しました。ワシントン発のユニコーン企業Mapbox Inc.とソフトバンク株式会社が共同出資するマップボックス・ジャパン合同会社が提供するデジタル地図の開発プラットフォーム「Mapbox」を活用し、お客さまから特にニーズの高い「自社施設の運用管理」サービスを提供します。



### データビークル DX協業加速

アドソル日進 × DataVehicle

株式会社データビークルと、DXソリューションの展開強化を目的に、ソリューションパートナー契約を締結しました。当社の「GIS：地理情報システム」と、データビークルの高度なデータ分析等を実現する「dataDiver」やDX人材育成サービス等を組み合わせ「拡張アナリティクス」×「GIS」の融合による相乗効果で、お客さまのさらなるデータ分析品質向上や意思決定の迅速化が期待できます。日本企業のDX推進・データ活用支援を加速させてまいります。



### ゼンリン 地図データ販売パートナー契約

アドソル日進 × ZENRIN

株式会社ゼンリンと、ゼンリンが提供する地図データ販売におけるパートナー契約を締結しました。この契約により、当社はゼンリンの地図データを組み込んだICTシステムやGISソリューションを、これまで以上にスピーディーに開発・提供できるようになります。お客さまも正確性・信頼性の高いゼンリンの地図上で自社データが可視化されることから、空間的なデータ分析による直感的な理解が促進され、意思決定の迅速化を実現することが可能となります。デジタルデータの利活用やDX等への活用提案を積極的に展開してまいります。

## 表彰

### 「IIJ Partner of the Year 2022」 「ビジネスイノベーションアワード」受賞

株式会社インターネットイニシアティブのパートナー企業を表彰する「IIJ Partner of the Year 2022」にて「ビジネスイノベーションアワード」を受賞しました。IIJの「産業IoTセキュリティリモートマネジメント/Machinery」を活用し、共同開発した位置測位ソリューション「uS1GMA powered by SRM」を、先進的なフォークリフトの稼働監視システムに展開したことが評価されました。当社は今後も「ヒト×モノ×コト」すべてがつながる安心・安全・快適なサービスをIIJと共同展開していきます。



### 「シュナイダー・サステナビリティ・インパクトアワード」で、 世界で6社のみ「Global Winner」に選出

仏・シュナイダーエレクトリック社が全世界のパートナー企業を対象として実施した「シュナイダー・サステナビリティ・インパクトアワード」を受賞しました。同社製品を活用し、エネルギー企業のカーボンニュートラルに向けた提案を行ったことなどをご評価いただき、全世界のパートナー企業400社超の登録の中から6社のみが選ばれた「Global Winner」として表彰されたものです。サステナブルな社会の実現に向け、今後も両社の共創をより深めてまいります。



## SDGs

### 産学連携 東京大学大学院工学系研究科

#### 「実践宇宙データ活用」の成果発表会

「宇宙を推進力とする経済成長とイノベーション」の実現に向け、東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 中須賀・船瀬研究室との共同研究を推進しています。この研究の一環として、2022年度下期に新講座「実践宇宙データ活用」が開講、当社はAI・IoT分野で協力しました。本年2月には、学生による成果発表会が開催され、「衛星データ」「船舶検出AI」を活用した新たなビジネスをテーマにプレゼンテーションを実施。PBL (Project Based Learning: 課題解決型学習) で試作したAIを用いた研究成果が披露されました。



### グローバル対応 アジア戦略：ベトナム

#### 日越外交関係樹立 50周年記念事業に協賛

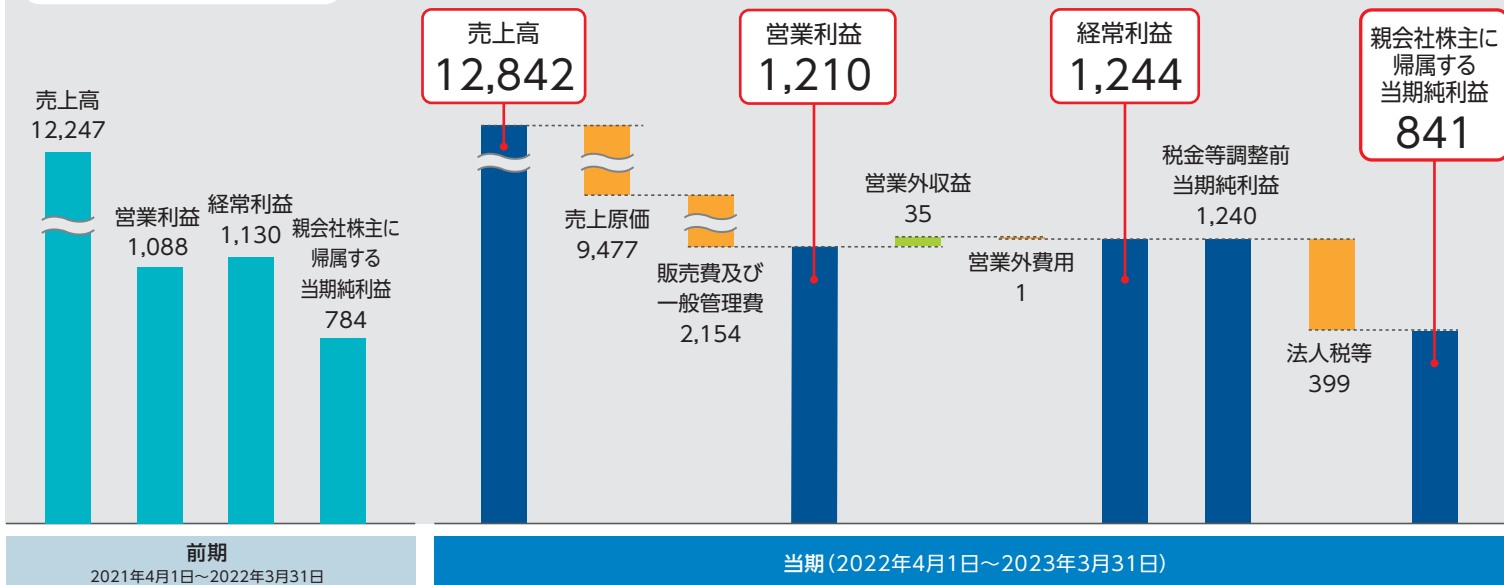
日本とベトナム社会主義共和国は1973年9月に外交関係を樹立し、2023年で50周年を迎えます。当社は、ベトナム3拠点（ダナン・ハノイ・ホーチミン）体制で、現地企業と提携し、海外オフショア開発事業を展開しています。また、現地の大学や日本語学校等に対し、eラーニングサービス「StudyArts」を提供するなど、日越の架け橋となる人材育成にも貢献しています。同国において事業展開する企業として、今後の日越外交の発展に向けた記念事業に賛同・協賛しました。



# 財務諸表 [2023年3月期]

## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



## Check Point

### 連結損益計算書のポイント

「DX・デジタル化」などのICT投資需要が回復したことなどから、売上高は12,842百万円、営業利益は1,210百万円となりました。

### 連結貸借対照表のポイント

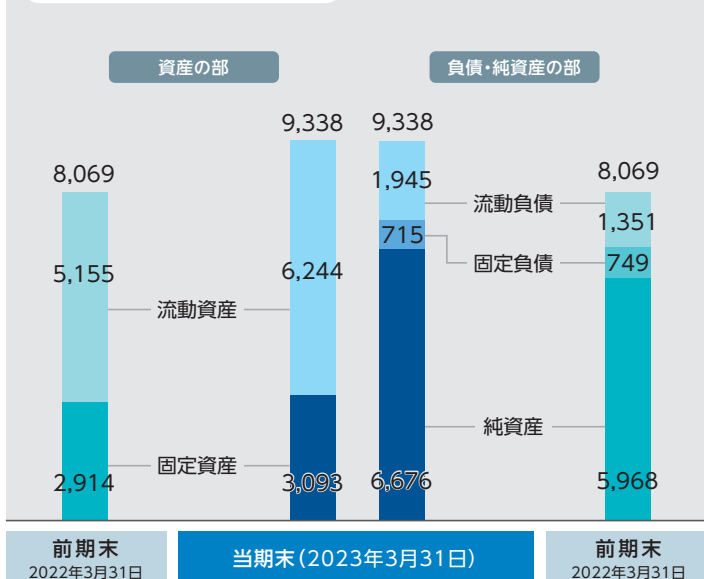
資産の部では、流動資産、固定資産ともに増加し、資産合計は9,338百万円となりました。負債・純資産の部では、流動負債は増加、固定負債は減少し、負債合計は2,661百万円となりました。純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、6,676百万円となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは1,020百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは99百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは336百万円の支出となり、現金及び現金同等物の期末残高は3,391百万円となりました。

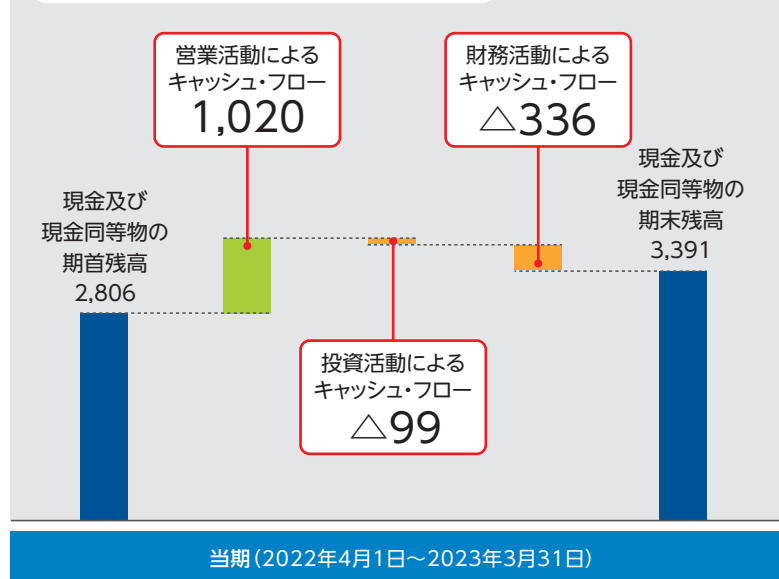
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



## 次期業績予想 (2024年3月期)

売上高	136.0 億円	前期比 5.9%増
営業利益	13.0 億円	前期比 7.4%増
経常利益	13.4 億円	前期比 7.7%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8.9 億円	前期比 6.6%増
1株当たり 配当金	39.0 円	前期比 1.0円増 (中間19.0円、期末20.0円)

# 会社概要・株主メモ

## 会社概要 (2023年3月31日現在)

会社名	アドソル日進株式会社
英文社名	Ad-Sol Nissin Corporation
所在地	東京都港区港南四丁目1番8号
設立	1976年3月13日
代表取締役会長 兼 CEO	上田 富三
代表取締役社長 兼 COO	篠崎 俊明
資本金	5.7億円
事業内容	独立系のICT企業として、社会インフラ・システムを中核にIoTシステムの開発、およびセキュリティ・ソリューションの提供
従業員数	1,164名(グループ総数)
拠点	東京本社 <支社>関西、九州 <開発センタ>仙台 <米国子会社>米国サンノゼR&Dセンタ

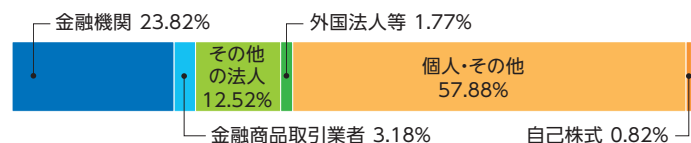
## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	28,800,000 株
発行済株式の総数	9,390,189 株
株主総数	6,722 名
大株主	

氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,193,600	12.82
アドソル日進従業員持株会	705,000	7.57
日本プロセス株式会社	494,000	5.30
株式会社日本カストディ銀行(信託B口)	320,000	3.44
株式会社インテック	316,300	3.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	258,600	2.78
株式会社みずほ銀行	186,000	2.00
株式会社パリュールHR	171,700	1.84
上田富三	138,800	1.49
株式会社三菱UFJ銀行	138,000	1.48
計	3,922,000	42.11

持株比率は自己株式(76,817株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (2023年3月31日現在)

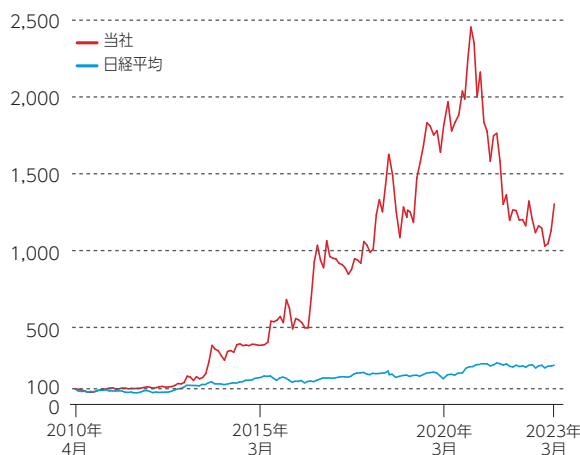


## 役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	上田 富三
代表取締役社長 兼 COO	篠崎 俊明
常務取締役	大西 元
取締役	寺村 知万
社外取締役	峰野 博史
社外取締役	坂本 すが
社外取締役	廣田 耕一
社外取締役	高見澤 将和
常勤監査役	後関 和浩
社外監査役	大滝 義衛
社外監査役	遠藤 弘宏

## 株価の推移 (2010年4月~2023年3月)

2010年4月を起点とした当社と日経平均の株価の推移を示したグラフです。2010年4月の株価を100として、その後どのように変動したかを示しています。



## 株主メモ

証券コード	3837
金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 ( <a href="https://www.adniss.jp/">https://www.adniss.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

## 配当金のお受け取りについて

配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2023年7月31日(月)までとなっております。  
口座振込をご指定されていない株主様は、同封の期末配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

### お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。  
配当金領収証の表面のお届出印欄にご押印のうえ、みずほ信託銀行、みずほ銀行の各本店および全国各支店にお持ちください。

### 配当金領収証を紛失されたら・・・

みずほ信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

### 銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめ致します。

# 株主ひろば

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

対象株主	時期
毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)	200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

## 優待内容

### 200株以上4,000株未満

#### 「緑の募金」付きクオカード



200株以上1,000株未満	500円相当
1,000株以上2,000株未満	1,000円相当
2,000株以上4,000株未満	1,500円相当

#### 保有期間特典

保有継続期間1年以上で、クオカード1枚(年間2枚)を追加贈呈

※保有継続期間は、毎年9月30日および3月31日を基準日として、同一株主番号で1年以上継続して保有されている期間。(同一株主名簿に連続3回以上記録)

※このクオカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付されます。集められた寄付金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりに活用されています。

### 4,000株以上

#### 選べる株主優待(3,000円相当の商品から1品)を贈呈



紀州五代梅  
550g・約24粒



祝梅  
230g×2種



梅三華  
150g×3種



木熟梅ゼリー  
「梅千家」8ヶ入り



五代庵  
梅酒3本セット 各300ml



有田みかんジュースセット  
495ml×3本



ピュアフルーツ  
寒天ジュレ  
8個セット



恋のお米  
2合×6個



素材そのままマーマレード 5個セット  
140g×5個

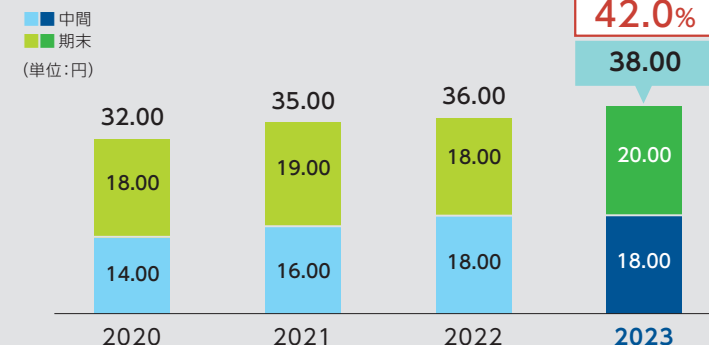


プラムリキュール  
セレクト



「緑の募金」付きクオカード  
3,000円相当

## 配当金の推移



# アドソル日進株式会社

〒108-0075 東京都港区港南四丁目1番8号  
TEL: (03) 5796-3131 (代表)

